



SANUMA

# 週報

VOL  
XVI

佐 沼 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

LET SERVICE  
LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

例会場	七十七銀行佐沼支店ホール	TEL(2)-2577
例会日	毎週木曜日	1230~1330
事務所	振興相互銀行佐沼支店	TEL(2)-2547
会長	千葉重雄	
幹事	大河内清	
週報	白石謙造 村上武彦 小林忠秋	
	阿部正美 秀 義弥	

## 第748回例会

1979. 8. 9 No. 6

- ◎ 本日の出席率 36名中8名欠席 77.78%
- 欠席者 及川浩会員、小山敏男会員、秀会員、若見会員  
布施孝雄会員、小林会員、西原会員、村上会員
- ◎ ビジター 及川ガバナー（公式訪問） 我妻広君（築館）  
黒羽武蔵君（古川）
- ◎ ニコニコボックス
- 布施孝之会員  
ボーイスカウトの県北地区キャンプ大会が3.4.5日迄の3日間鬼首高原で行われましたが、大会長として無事その務めを果たしました。ほんとうに御苦労様でした。
- 壹岐会員  
ガバナーを迎えての懇親会終了後鈴木会員に誘われて絶世の美女の居るヨカトコに行って参りました。  
羨ましい限りです。次の機会に是非どうぞ？
- 小竹会員  
クラブ麻雀大会に於て、入会3年目で佐藤（幹）会員の猛追を退け優勝致しました。おめでとうございます。
- 氏家（良）会員  
山形市に於て行われました第3回東北中学校剣道大会に佐中生徒を参加させましたが、見事に敗れました。  
大変残念でしたが、本当に御苦労様です。
- 佐藤（幹）会員  
クラブ麻雀大会で久しぶりで第2位でした。今後はこれ以下に下らない事にします。  
実力からして当然のことです。むしろ優勝しないのが不思議です？
- 伊藤会員  
8月6日69回目の誕生日を迎えました。おめでとうございます。益々御健勝でご活躍の程祈ります。
- 及川ガバナー  
ガバナー公式訪問が無事終了致しました。  
誠に御苦労様です。御指導感謝申し上げます。
- ◎ 会長要件  
これからガバナー臨席のもとに例会を開きます。昨日は長時間に亘り、会員皆様の熱意溢れる協議会、引続きまして懇親会が有意義に然も楽しく催すことが出来ましたことを心から感謝申し上げます。当クラブも本年度16年目を迎え一層心を新にして先生の御指導御指示に従いまして行動実践に入りたいと思います。後程先生のスピーチがあり

ますので、当クラブにとりましては、またと無い機会でございますので最後まで御清聴願います。尚各委員長の報告は急を要する以外は次週にお願いします。

### ◎ 幹事報告

- 仙台南RC 8月16日の例会に1時から2時まで変革期のロータリーと身体障害者問題につきまして、佐藤センジ先生の講演があります。
- 会場及び時間の臨時変更のお知らせ

  1. 仙台北RC 8月22日第4週の例会は5時30分市内荒巻のゴルフガーデンに変更
  2. 盛岡RC 8月17日、8月24日の例会は市内南大通村町本店に会場変更

### ◎ スピーチ 及川ガバナー

昨日以来、皆様から有益なお話を伺いまして、むしろ私の方が勉強になったのでございます。昨日お話しするのを残したことを申します。

ロータリー創立75周年記念国際大会が御承知のように、来年の6月1日から5日までの間ロータリーの発生の地シカゴで行われます。

大会場は10万人収容出来るそうで、日本からも是非1クラブ1人は出席して頂きたいと云うことです。佐沼クラブからも、ぜひ参加していただきたいと思います。

さて、スピーチは、私は余りロータリーに関連ない話をする事にしています。全く関連のない話をするなど云うことではございますが？

私は昭和19年3月に、3年間ソ満国境の騎兵隊、或いは野戦重砲隊にいたので、10日間の休暇を貰って仙台の家族のところへ3年振りに帰ることにしました。その当時、東北大の小児科の教授荒川君が、部隊は違っていましたけど丁度同じ場所に居て、毎日2人で酒ばかり飲んで居ったのです。私が休暇で内地に帰ると云ったら、内地の3月の気候は暖かいからオーバーでは無理だ、俺が将校マントを貸すというので、それを借りて良い気になって着たのでした。牡丹江の将校集会所に泊って刀は床前に飾り、寝たのですが、朝寝呆してしまい、牡丹江～釜山行きの急行に慌てて乗りましたが、発車のベルが鳴った途端に腰に軍刀がないことに気付きました。しかし、これで行かなければ連絡船も契約済みだし仕様が無いと諦め、そのままにしました。

乗り替えの際は、マントを着ているものですから肘を張っていると軍刀を吊っているように見えますから、誤魔化して、下関に着きました。着いたのは夜ですから、夕食を喰べさず処がなく、仕方なく喰べずに列車に乗り大阪に出て軍刀を買収したので、大阪で下車し150円で軍刀を購いました。死ぬ前に1度伊勢詣りをしようと思ひ外宮に詣りましたが、その際、宇治山田駅に下り駅前の昔からの旅館にトランクを預けようと思ひ、交渉しましたが、満員だからと断られました。泊るのではなくこのトランクを参詣する間預かって貰いたいと話しましたが、満員だから駄目だと一点張り。満員と関係ない筈だが、仕方なく駅に引返し、駅に預けて参詣したことがありますが、非常に気分の悪い処だと思ひました。今、私が満洲から帰って来て飲まず喰わずにいるのに、荷物も預からんという馬鹿なことがあるかと思ひ、こういうのが伊勢の玄関番をやっているととは癪に障りましたが、我慢して内宮に詣でて来ました。参詣を終って電車に乗ろうとしたら、長蛇の列で何時間待ったなら乗れるか判らない状況でした。最後列に入り待っていましたら、1人の中年の男が来て、兵隊さん何処まで行くかと聞くので、仙台に帰るのだと答えると、とてもこんな処に並んでいたのでは何時乗れるか判らないから、車掌に頼み先に乗せて貰いたいと云うのです。しかし、これ迄待っているのを押し退けて乗るわけにいかないと、立っていたなら、又15分位して来て、先に行きなさいというのですが、頑張って断り立っていましたら、又30分程して来て私が連れて行くから一緒に行きましようとのことで、私の荷物を持って列を押し退け前へ進み、車掌に頼み私を乗せて呉れました。随分と親切な人が居るもんだと先刻の気分の悪さも吹き飛んだわけでした。

電車に乗り、荷物を預けている駅までは2~3丁ありましたが、荷物を受取り人込みを掻き分けて出て来たら、さっきの親切な人物が現われたのでした。何時の間に来たのかそんな早くこれるわけがないのに？私のトランクを肩にさっさと歩き出して、急行券はあるのかと聞くので無いというと、私を買ってきてあげますと、裏口から入り急行券を買って来たのでした。私の荷物を持って電車に乗せて、中川という駅で乗り替えるのだと教え、アッという間にいなくなりました。

私も1日の間にそういう親切なものと不親切なものと1時間位の間に両方におつかり、非常に不思議な感じがしました。捨てる神もあれば助ける神もあるということでしょう。中川の駅で乗り替えの為、待っていましたら、やがて電車が来て、その電車で窓から飛び乗るものが多く、私は満洲で3年もの間のんびりしていたものですから、アッと云う間に発車されてしまい、残ったのは私と17~18才位の男子2人でした。その2人と話しているうちに、兵隊さん昨夜から何も喰べていないそうだからと、風呂敷包を解き、茹卵を3個取り出してくれました。その卵を有難く頂戴して話しながら次の電車で名古屋に出ました。名古屋に出て人波を分けて歩いていたら、後から兵隊さんと声をかけられたので振り向くと、別の青年が追かけて来たので立ち止まると、その青年の後から腰の曲ったお婆さんが走って来て、兵隊さんお腹が空いているようだから、これを食べてくれと、折箱を出されまして開けて見ると、のり巻が入っていました。

このように1日の間に両極端の意見にあいまして、私はこれまで余り不思議なことにあったことが無いのですが、これはお伊勢様の化身ではないかと思つたのでした。これらの人々のように、世の中は相手の出取により気分がよくなったり、悪くなったりすることが多くあります。

ロータリーのこの道を照らすということも、ロータリアンであれば、その周りは明るくなると云うことで、仏教のなかでも人本というお経のなかに、この人間に乗じて、よく世上の闇を……という文句がございます。この人とは仏様のことで世間を歩き廻るとその辺の暗闇が皆明るくなるということでございます。仏様の絵を見ると、目に見えない光が発するのではないのでしょうか？我々ロータリアンも、ライオンズと違う点はどこであるかという、ライオンズは金銭的に団体で以って、社会に慈善事業を行うのがライオンズクラブです。ロータリーは人造りにありまして、世直しの為にはそこに住んで居る人がりっぱにならなければ世の中は明るくも良くもならないという観点で、特に例会は修業の場であるという方針であります。私達はあくまでも人間造りの方針を堅持しなければならないと思ひます。

そういう例が沢山ございまして、郵便局長とタクシー運転手のお話しも申し上げましたが、ああいうふう人間対人間の気持ちというもの是非常に微妙でございまして、一寸したことで明るくもなったり暗くもなったりで、そういうことが影響力が大きいと思ひます。職業奉仕にしろ、社会奉仕にしろ、物質的面よりも精神的面の方がより影響力が大きいと思ひます。昨日お話ししましたけれど、社会奉仕で老人ホームにカラーテレビを寄付するよりも、ロータリアン全員で1日老人の話し相手になった方がよりロータリー的なやり方であると云えます。私は保健所長を28年勤めまして社会的な奉仕を行った心算です。私はこの28年の勤めに満足していますし非常にすがすがしい気持ちでガバナーに任命されたのですが、とてもガバナーの仕事は片手間に出来ないので辞めざるを得なかったのです。任命委員会で指令したということで、私はそれでは保健所長を辞めなければなりませんよと云ったら、笹幸助パストガバナーが、そろそろ辞めるころだと思ひ任命したということです。然し保健所に居て非常に良い仕事をしたと思ひます。

例をひきますと、日本一貧乏な沢内村がございまして。その沢内村のある部落で座談会をもった際、保健所に何を望むか、その意向を聴いたのですが、役所のやることは得てしてその地域のニーズに無関係なことが多いので、全く血の通わない愛情のない行政と非難されることが多いのです。その部落の婦人達から何んとか水道を造って欲しくないかということでした。その理由を聞きますと、実にひどい状態で、沢水が田圃の間を1K程流れていて、それが各家に入るのですが、土間に溝を掘りそこを流れて隣の家に入り、その又隣に入るというように次々に各戸の土間を通過して、それが飲み水であり、使い水でもあったのでした。雨が降れば畜舎から流れた汚水と一緒に、今日の水は酔っぱいなどといった状況で、洗濯水が流れ込んだりしていたのでした。暑い時分、野良から帰り、喉が渇いていても生水が飲めないのが一番の苦痛であるという婦人方の悲痛な叫びでした。

早速予算要求をして、少規模水道という人口100人以下の所に造る水道を造り、12月に落成式を行なったのですが、丁度その日は猛吹雪で、積雪2Mといった状態でした。私が式に出席するため川尻駅で下車し、温泉まで5K程歩き、それから雪のため道が見えない所を5~6K歩き、やっと式場の公民館に着いたのでしたが、ある有名な深沢村長始め部落の人が多勢集まって準備をしていました。私を見て非常に喜び、婦人達はいきなり私を台所に連れて行き、蛇口を捻って水を出して見せ、涙を流さばかりの喜びようでした。